

今月の聖句

『聞くのに早く、話すのに遅く、
また怒るのに遅いようにしなさい。』
(ヤコブの手紙 第1章19節)

◎3月の予定

- 2日(月) く休校・自宅学習
- 12日(木) 教務委員会
- 18日(水) 教職員協議会
- 20日(金・祝) 卒業礼拝式
- 26日(木) 理事会・評議員会

★3月に予定されていましたが
ステパノカップ・
ハンドベルコンサートは中止に
なりました事をご案内致します。

◎4月予定

- 3日(金) 教務委員会
教職員協議会
- 6日(月) 1学期始業礼拝
入学礼拝式
- 16日(木) 学力学習状況調査
- 18日(土) 保護者総会

*4月以降は予定変更の可能性もあります



児童造形展

(5・6年見学)
県民ホール
ギャラリーにて



横浜銀行アイスアリーナ



スケート教室(3~6年)



第74回市町村対抗かながわ駅伝大磯町代表選手として出場



◎新型コロナウイルス感染症対策について

〈臨時休業 休校・自宅学習〉

2月29日(土) 〃

〈ウイルス感染防止〉

今回の臨時休業は、新型コロナウイルスの感染の拡大を防止するための措置です。休業中は人の集まる場所への外出を避け、基本的に自宅で過ごしてください。自宅でも、手洗い、うがい、マスク、咳エチケットなどの感染予防に努めてください。

〈学習について〉

休業による学習が遅れが生じないよう、毎日自宅学習をしてください。学校からも休業中の課題や学習についての指示をします。

〈学校への登校について〉

基本的に学校への登校はできません。

〈3月の予定について〉

- ・実施方法を変更して実施するもの
- 20日(金)卒業礼拝式(祝ひきは中止)
- ・中止するもの
- 終業礼拝

- ・臨時休業中に予定していた全ての行事
- ・現段階では未定のもの
- 通知表の配布
- 私物の持ち帰り



学園長 小川 正夫

コロナウイルス、パンデミックの影響で、この春は休校が続き、子ども達の声が聞こえない寂しさがありますが、久しぶりに自分の学校生活で先生との出会いを思い出しました。

教職についてから、いつの間にか六十五年まさに光陰矢の如しです。私が新任教師だった頃ですが毎週金曜日の午後にはチャプレンからの初任者研修が一学期の間続きました。「キリスト教学校で子ども達の前に立つというこの意味」「教育者として、信徒としての心構え」について指導を受けました。

私は学生の頃から教会や大学の晩禱に出席することはよくありましたが、洗礼を受けてはいませんでした。受洗を勧められた時のことですが、「僕にはそんな立派な生活には自信がありません」と応え、チャプレンは「生意気なことを言っちゃいけない、最初から君にできるなんて誰も思っていない、君が神様を選ぶのではなく、神様が君を選ぶほうとしているのだ」と諭され、即座に決心して受洗したことを覚えています。

前任校は聖書にある「あなたの幼き日にあなたの創り主を覚えなさい」の言葉の様に当時の大学総長佐々木順三先生が中心になり立教大学文学部に初等教育学科を設け、小学校の教員の養成を実施し、併せて大学に併設し

て立教小学校を創設しました。その時の総長佐々木順三先生の願いは「世の中にクリスチャンリーダーを送り出したい」でした。キリスト教倫理の時間を担当された大須賀潔先生からは「教師は四十年間もずっと素直な心を持つた子ども達に影響を与え続けていく仕事だと自覚し、どんな小さな出会いも大切にすること」と教えられました。

立教小学校創立と同じ年エリザベス・サンダース・ホームの働きが始まり、創立者澤田美喜は「小さくされ目を背けられて誰かが手を差し伸べなければ生きていけない子ども達がいるのなら、その誰かに私になる」という言葉を実践しました。私は新任教師として立教小学校に招かれたのですが、最初に担任したクラスは七回生が三年生になった元気な子ども達で、六年生まで四年間の持ち上がりとなった印象深い強者揃いの子ども達でした。

新任の私には一人が二十人分ぐらい存在感のある子ども達に戸惑っている、校長有賀千代吉先生に「小川君、神様はあの子も愛しているんだよ、だから悪い子なんていないんだよ」と声を掛けられた言葉は今も私を支えており忘れることはありません。

先日、日本私立小学校連合会会長、東京都私立小学校協会会長、元昭和女子大付属小学校校長の小泉清裕先生とお話する機会がありました。先生は玉川大学学長小原國芳先生、昭和女子大学学長人見楠朗先生から大きな影響を受けられたという話をお聞きし、私も尊

敬している先生方で、共通認識で、「人はどういふ人と出会うかで大きな影響を受ける」という話で盛り上がりました。

小原國芳先生は、真の人間を教え育むことを説かれ「教育は丁寧に行うべきで、丁寧な教育は丁寧な言葉で行うべきだ」と情熱的に教えられました。人見楠朗先生は、初等教育に生活科を置くことの必要性を勧められ、「伝統は守り続けるというより、創り上げ、発信していくべきだ」と説いておられました。

言葉を思い出すと、あたかもその言葉をかけてくださった先生が、何年もたっているのに、目の前に浮かび上がってくるような気がするのも不思議ですが、先生のことを思い出すとその先生の言われた言葉や姿を思い出すのも不思議です。

私が小学校一年生に入学したとき、教室で年配の担任の先生が、「私は、サイト サイト サクラガ サイトのサイト先生です」と言っていて国語の教科書の一ページ目を開いて読んでくれたのをはっきり覚えています。卒業式の浅沼先生の言葉は「質素儉約に心がけ人の為に役に立つ働きをしなさい」でした。

旧制中学を終わるときはの広瀬校長先生の言葉は、「らしく」でした。高校を終わるときは校長先生の言葉は、「なぜ」でした。「君たちは若いし色々な誘惑に心惹かれると思う、その時、ちよつと立ち止まって『なぜ』そうしようと思うのかと考えれば、生き方を大きく踏み外すことはない」の言葉を思い出します。

研修報告『調べる学習と基本のスキル』

教諭 赤田 祐章

昨年度と今年度の私立小学校研修会では、学校図書館部会に参加しています。今まで参加していた教科の研修では、単元をどのよう
に児童へ伝えていくかが主題となることが多く
ありました。しかし、図書館の持つ性質上、
総合的なこと、教科を超える取り組みが多く
あります。今回は、昨年の十一月十六日に行
われた、関東地区私立小学校教職員研修会(全
国学校図書館協議会・藤田利江氏の講演主題
『学校図書館の活性化をめざして』調べる学
習と基本のスキル』での様子をお伝えしま
す。

「さあ、気になることを調べよう」と
声かけをしても、与えられた問題を解いた
経験しかない、

「これってどういうことかな？」

と調べたいことを自分で見つける子は極めて
少数です。多くの子は、気になることが、分
かりません。ですから、調べる学習をする時、
どうやって疑問を持てば良いかを、スキルと
して身につけないといけません。スキルは生
まれ持つ能力ではなく、経験を段階的に積む
ことによって、一人一人が身につけることが
できます。疑問を考えるだけでなく、調べる・
まとめることもスキルとして身につけること

ができます。

【調べたいことを見つける】

テーマについて調べたいことを探すヒント
は、①どうなっているの？②いくつあるの？
③どこにあるの？④どうしてなの？⑤だれが
つくったの？⑥いつからあるの？⑦どのくら
いの大きさ？⑧なにをたべるの？にあります。
例えばドーナツチャート(図・1)を使い
「あり」を考えます。中央に調べる対象を書
き、その周りに①②③に当てはまり気になる
ことを、いろいろな教科を思い浮かべながら、
誰かに質問するように書きます。

学年に適したチャートを使うと効果が上が
ります。(ペンタゴンチャート・たいようチャ
ート・まんだらチャート・図・2③4)
大テーマから小テーマを探すことができた
ら、文献を使って調べることが出来ます。(小
テーマを更に、チャートを使って細分化する
と、より深く考えることができます。)

【資料を調べる】

資料には本・雑誌・リーフレット・パンフ
レット・実験・観察・ネット検索・聞くこと
などがあります。最初に百科事典を調べるの
が望ましく、概略を捉えることができます。
チャートに記入した質問の答えを見つけて
質問と調べてわかったことを「そのままカー
ド」(図・5)に載っていた書名と一緒に書き
ます。次に「そのままカード」に書いた質問
と答えを一文にし、「まとめカード」(図・6)
に書きます。見つけた答えはそのまま書き、

そのあとに自分の言葉を添えるように書きま
す。最後に調べてみて初めて知ったこと、誰
かに教えたいこと、もっと調べたいことを「感
想カード」(図・7)に書きます。

【まとめる】

画用紙などに調べたことをまとめます。「○
○について」や「○○のひみつ」は使わずに、
十文字以上の言葉で調べたことのテーマを決
め大きく書きます。テーマの周りに「まとめ
カード」「感想カード」を貼ります。絵など文
字以外の情報があると、わかりやすくなりま
す。裏に「そのままカード」を貼っておくと、
出典が分かるようになります。

この三段階を経て疑問の持ち方、資料の調
べ方、まとめ方を体系的に学習することで、
調べる学習の基本スキルを身につけることが
できます。

調べる学習の基本スキルを身につけること
は、自分の考えを筋道立てて考えることにな
ります。ステパノでも試してみたいと考えて
います。

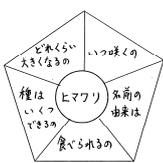


図-2 ペンタゴンチャート

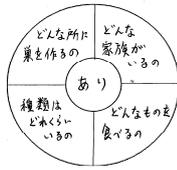


図-1 ドーナツチャート

収集方法	新聞紙	洋服
カン	リサイクル	祖大ゴミ
ビン	ペットボトル	マフ

図-4 まんだらチャート

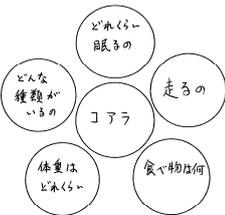


図-3 たいようチャート

わかったこと
アリの家族には、女王アリ、
お母アリ、はお父アリ、
はいないアリ がある。

図-6 まとめカード

思ったこと
アリも仕事分担して
いることがわかった。

図-7 感想カード

質問 どんな家族がいるの？
調べたこと
女王アリ、お母アリ、
はお父アリ、はいないアリ
がある。

図-5 そのままカード

卒業に寄せて

教諭 金阿彌 勉

卒業に寄せて、どのような言葉を贈ろうか
と思ひ悩みましたが、キリスト教学校での日
が浅い私が聖書から引用するのは板についた
話ができないことと、生徒たちへの願いの元
は日ごろの自分にあると考え、私自身がより
どころにしていることについてお話しさせて
いただきます。

美術科という担当の仕事柄、色や形の微妙
な違いにも敏感で、より美しい形や色合いに
したいというこだわりが強く、何事に対して
も究めようとすることが多いです。

突き詰めて物事を考え続けることは大事な
ことですが、その一方で「過ぎたるは猶及ば
ざるが如し」という言葉通りの結末であつた
り、求めようとするあまり、周りとの軋轢に
繋がったりすることもありました。

そういう自分を戒めるべく、四書の一つ『中
庸』に書かれているいくつかの言葉を座右の
銘としてきました。

中庸とは「物事を俯瞰して良く見極め、偏
ることなく誰にでも理解できる言動をし、常
に泰然としていること」と理解しています。

実際には日々の様々な刺激の中、感情の動

きに左右されブレてばかりですが、目指す姿
として心がけることは大事なことだと思つて
います。

話は変わりますが、私の主な趣味は登山と
料理をすることです。

どちらも自分の心を整える（それを支える
健康を維持することも含めてでしょうか）た
めにしているのですが、山中で遠くに見える
景色から位置や高度を確かめながら歩く時、
最終的にどのような味や食感にしたいかイメ
ージしながら素材の切り方や調理法などを考
えていく時、「中庸」ということばを意識しな
がら気持ちを整えるようにしています。

この中庸の最初に「天命を知る」という考
えが書かれています。

『天の命これを性といい、性にしたがうこ
れを道といい、道を修むるこれを教えという』
とあり、天が人に授けた本性に自然に従うこ
とが人の生き方であり、その生き方を学ぶの
が教育であるというような意味なのだそうで
す。

卒業生のみなさんは一人ひとりとっても愛
すべき素敵な個性（≡持ち味）を持っていま
す。一緒に過ごした一年間で、日々本当に楽
しませてもらいました。登校してくる姿を職
員室で迎えるところから一日がはじまり、礼
拝・朝学活・授業・給食・帰り学活と様々な

場面での会話で、時に「どゆこと?」とい
う不思議なりアクションもあり、謎の含み笑
いやツボにはまり爆笑になる反応など、人間
味あふれる表情がたくさんみられ、心が和み
癒されることがたくさんありました。

それらの持ち味に自然に従いつつ、人とし
てどう歩むのか、自分にはどのような役割を
担えるのかということを見極めるために、自
ら選んだ次のステージでしっかり学び、世界
を広げ物の見方を培っていつてくれたらと願
っています。

そうは言っても、それぞれの道で様々な経
験をする中、他人とぶつかり自分自身の壁と
ぶつかり、凹むことも多いでしょう。

でもそれは誰しも同じです。実現させたい
ことに一生懸命取り組んでいけば見えていく
れる人・力になつてくれる人は必ずいます。
天命を信じ自分を信じまわりを信じること
で、必ずや道は拓けます。

それでも彷徨った時、一人で抱えきれなく
なった時には、ぜひ学園に吐き出しにきてく
ださい。

そしていつの日か、私の『中庸』という言
葉のように、自分の指針となる言葉を見つけ、
「自分はこう生きる」という信念を持って歩
んでいってください。

またお会いしましょう！

今年度は、六年生の担任をさせていただいています。四月、教室開きの初日に子ども達の前で話した言葉は、「三月の卒業礼拝式で、卒業生としての立派な姿を見せられるように、みんなで協力して頑張ってくださいよう。」といった内容でした。今年の六年生は、在籍七人だった五年の途中から仲間が増えたこともあり、ステパノでの生活経験は浅く、お互いの人間関係の構築が課題でした。私は、ステパノでの生活を日々確認し、行事は見通しが持てるよう予定を提示し、一つ一つ説明しながら日々を過ごすことが必要だと考え実行してきました。安心サポートです。

学級会で決めたクラス目標は、『仲良くするクラス』『みんなでたすけあうクラス』です。クラス目標は時折子ども達と確認し合いました。こんなクラスになるには、言葉遣いや大切だよ、思いやりが必要だよ、誰と隣や班になっても仲間になろう、といったことをずっと話してきました。そのためには、自分ができることを増やして自信をつけて欲しい、自分から友達へ関わって欲しい、正しい意見を言える、そんな成長を期待しました。

振り返ると、六年生は、実験・実技・実習など、頭と体を働かせる授業が好きだったようです。みんな意欲的にとっても生き生きした

姿が多く見られました。そして行事では、それぞれの役割を果たす中で達成感を感じ、自立と自信を実感し、成長の様子を感じることができました。

日々大切にしてきたことの一つ目は、心身に健康な生活が送れるように生活リズムを整えることを重要視してきました。十二歳、心身共に不安定な時もあります。まずは良く眠り、しっかりと食事をとること、その上に学校の準備（身支度や持ち物や家庭学習等）へと積み重なります。ご家庭にも元気に登校できるようにお願いすることも多かったです。

二つ目に、相手の気持ちを考えた言動を指してきました。子ども達はそれぞれ個性的で、感じ方や考え方、表現の仕方がそれぞれで、お互いに理解できないこともあったと思います。嫌な思いをしたこともあったと思います。いさかい、言動での失敗などを経て、お互いに少しずつ理解し合えるものです。その度に、ちよつと言い過ぎたとか、他の言い方が良かったのではないかとか、その度に行き詰る時が学ぶ機会です。一年を通じてすべてを解決できてはいないと思いますが、クラス全員確かな成長はありました。快適な楽しいクラス空間を目指して、完成までは行きませんが、これからも取り組むべきことだと思います。

三つ目に、休み時間と授業の区別をつけたり、人の話や意見を静かに聞いてから意見や質問をしたり、そういったけじめについては、

教師の声掛けなく自分達だけで常にできて欲しいと思っています。自主的な行動と自治的な学級生活は卒業学年の責務です。

人間とは、人の間で生き、人に支えられ、一人では生きられないものです。お互いに助け合って自分という存在が認識できます。ですから周りの友だちや、大人に感謝する気持ちが大切です。子ども達にはこれからもずっと「感謝の心」を持ち続けて欲しいです。教室内での思い出と言え、給食の時間でしょうか。お代わりして沢山いただきました。ご飯の時は、ラップでおにぎりしたりと本当によく美味しくいただきました。給食室の皆様、感謝申し上げます。

今年、私はステパノ学園で在職二十五年という月日を迎えさせていただきました。これまで出会った子ども達、ご指導、ご鞭撻をいただいた諸先生方、ご意見、ご支援をいただいた保護者の皆様のおかげです。心より感謝申し上げます。

今回の題名は、澤田美喜先生が作詞された聖ステパノ学園校歌の歌詞の中から、みんなを選んでつけた学級通信名『神のめぐみ』。「恵み」とは、神様からの好意、誠意、慈愛。小六担任としてこの時期に思うことは、これからもこの校歌を歌いながら、私達教職員が目指す教育について努力していこうということです。今のこの卒業は一つの節目。卒業する14名の子ども達の今後の人生にも、神の恵みをお祈りの中で感じて欲しいと強く願っています。

「小学校」卒業を前にした六年生に、小学校生活を振り返る中で、思い出に残っていることを聞いてみました。

ぼくの思い出は遠足です。上野動物園でいっぱい動物を見ました。は虫類コーナーで口の先がとがったワニが居ました。とてもめずらしいワニでした。(A K)

今までケンカもたくさんしたけれど、仲良し友達もたくさん作れました。良いクラスに来てすごく良かったです。今までありがとうございました。(A A)

修学旅行の時に部屋でおばけやしきをしたのが一番心に残っています。笑って、笑ってこわかった思い出でした。その後のごはんがおいしかったです。(I N)

ぼくが思い出に残っていることは、ニコニコランチです。全員で話しながら食べるのは、とても楽しかったです。(O S)

思い出に残っていることは、修学旅行とサマーキャンプと遠足と集会です。修学旅行では、皆といっしょに生活して色々な物を見学したことが楽しかったです。(O S)

一番印象に残ったのは、修学旅行です。いろいろな所をまわって楽しかったです。思え

ばすごく大ききわぎをしていたけれど楽しかったです。(O M)

修学旅行の時のすき焼きとおかべ屋のお料理がおいしかったです。また、去年のスケート教室の時に公園に寄ったことや、三年の祝会の劇で、アオバトの役を演じたことも楽しい思い出です。(K F)

運動会では、つな引きや徒競走や係活動が大変でした。でもチームでがんばってやっただけ楽しかったです。(K H)

ぼくが一年生の頃は、マラソンは運動公園ではなく海でした。当日、ひどい砂嵐で、砂が体にピチピチと当たり痛かった思い出があります。砂嵐の中でのマラソンは大変でした。(S A)

自分が一番思い出に残っていることは、水泳記録会のことです。順番が来る前は、すごく緊張したけど、順番がきて泳ぎ終わったらすごく楽しかったです。行けてよかったです。(S K)

私は修学旅行が一番の思い出です。寝る前にこっそりテレビを見たり、こわい話をしたりおもしろかったです。(F H)



私が小学校生活で一番心に残ったことは、修学旅行でした。みんなでいっしょにいろいろな所を回って楽しかったです。特に大仏がすごく大きかったです。感動しました。(M M)

陸上競技部で二キロを八分台後半で走れるようになったことです。まだまだ遅いけれどもうれしかったです。(M K)

五年生の時にお誕生会でお誕生日の子が「ホイップ出ない」と言って振り回して、色んなところについて皆で笑った時が楽しかったです。それが思い出です。(M A)



上野動物園



東大寺盧舎那仏座像
(るしゃなぶつぎぞう)
通称：奈良の大仏

「中学校」卒業を間近に控えた、十九名の中学三年生から一言です。

僕は、ステパノに入った当初は、少々心がひん曲がっていましたが、今は皆さんの優しさのおかげで、まっすぐな男になりました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。(A S)

僕は、この学校に来ていろいろ学びました。人との会話の仕方、勉強の仕方。この学校に入れて良かったです。(AS)

私はこの学校に入ってから、様々な事を経験し、自分の世界が広がった気がします。高校ではもっと広い世界、いや宇宙まで広がっていきたいです。(IN)

今まで学校行事、授業、部活などで色々なことを教えて下さってありがとうございます。高校へ行ったら教えられたことを思い出し、それを高校生活でいかしたいです。(IM)

中学生になってもう三年、早いです。高校生になったらもっと早いと思います。ステパノでは、大切な事ばかり学びました。ステパノの友達と思い出は一生忘れません。(IY)

私はこの学校で、「全力で物事に取り組む」ことと、「他の人のために尽くす」ことを学びました。私は高校に行ってもこの二つのことを実行しようと思います。(KJ)

高校に行ったら、ボランティアをやりたいと思っています。ステパノの先生、みなさん今までありがとうございます。(SA)

九年間、この学校で過ごさせて本当に楽しかったです。そして、中三のみんなやたくさん

の人と仲良くなつて、皆すごく大切な存在です。本当にありがとうございます。(SN)

僕がステパノに入った当初は、すごく短気でしたが、中三の今は我慢ができるようになったので、自分は成長しました。そうしてくれた米原先生には感謝しています。(SA)

偽りの無い自分と向き合いました。ステパノでの人生経験が無ければ、私はこの先も成長できなかったと思います。ありがとうございます。(TH)

けんかしたり、いらいらすることが以前よりも減りました。ここで一緒に過ごしたクラスのみんや先生のおかげで成長できました。ありがとうございます。(NY)

僕は卒業するにあたって、先生方に感謝しがあります。この学校でだいぶ成長することができました。この学校に来て良かったです。本当に感謝しています。(NG)

私は小五でステパノに来て、気づいたら中一になり、気づいたらもう卒業で早いなあと思います。高校もあつという間なんだろうと思います。ありがとうございます。(NS)

この学校では、楽しい事もいやな事もいっぱいありました。でも大嫌いだつた春の遠足

は、歩く事の楽しさを教えてくれました。三年間ありがとうございます。(NY)

九年間、つらかったり楽しかったり、とても濃い毎日を送ることができました。この学校で学んだ思い出を糧に、これからの毎日を自分らしく生きていきたいです。(FJ)

僕は、この三年間で、時には人に優しくしてもらったり、人に優しくできたりしたところが良かったです。三年間、ありがとうございます。(MS)

私はこの学校に入ってから良かったと思つています。なぜならば、学年が上がるごとに、自分でわかるぐらい成長していた、と思つたからです。(MT)

「ありがとうございますさよならくせくんせい。」私はこの卒業ソングが一番好きです。卒業生の心情をわかりやすく歌えるからです。三年間ご指導下さつてありがとうございます。(MA)

私は一年の三学期に入りました。特に印象に残ったのは飼育委員になったことです。今まで犬以外は触れなかったけれど、初めて小動物をかかわることができました。(YR)

卒業おめでとう！





今年も卒業の時期になりました。

* * *

初めての学校に興奮した息子は、あつという間にチャペルから駆け出してどこかへ行ってしまうしました。チャペルには聖句がありました。「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとにきなさい。休ませてあげよう」。案内してくれた咲間先生はおっしゃいました。「優しいようだけど、厳しい聖句なんですよ。休んだ後はまた歩き出さなければいけないのだから。」

息子はその頃、腹痛で学校に行けない日もありました。私もとても疲れていました。私は神様に語り掛けました。「中学を卒業するまで、どうかステパノにいらさせてください。高校や社会に出ていく英気をここで養わせてください。」

あれから四年がたち、ついに歩き出す日がやってきました。学園長先生に向かって、頬杖を突きながら友達のような口調で話していた息子は、部活動に励む中三になりました。今の姿は、転入前には想像もできませんでした。

子育てに悩む保護者に、学園長先生はよく「このまま大きくなるわけではないですから」とおっしゃいます。息子が小学生の頃は半信半疑でした。息子の特性はなくなるものではないからです。でも今は、本当だったとわかります。

苦手なことはまだたくさんあるけれど、ちゃんと成長するのですね。

ステパノまつりで働く息子の写真を見た、転校前の担任の先生がおっしゃいました。「大切にされているのがよくわかる。」

大磯駅に着くバスで「やさしい心を育む聖ステパノ学園前でございます」とアナウンスが流れます。やさしい心はどうやったら育つのか、その答は「大切にされること」なのだと思います。それがかなうのがステパノです。

このコーナーを担当して四年間、多くの出会いと学びがありました。先生方は楽しそうにステパノの生活を語り、「自分中心」がまるでないことに驚きました。そんな学校で過ごせたことは何という幸せかと思えます。

これから先、例えば高校を卒業するころはどうなっているのか、今は全く想像ができません。不安を数えればきりがありません。ただ、ステパノでの心豊かな日々が息子の糧になることを信じています。ステパノにわが子が通ったことを誇りに思います。

正門をくぐって岩崎山の緑の中に身を置いたときの心の安らぎや、海の見えるホールから木々の向こうに広がる相模湾を、これからも何度も思い出すことでしょう。

中三保護者 SAの部屋委員 井上紀代



STEPHEN'S NEWS

- ・国連英検ジュニアテストDコース 1stグレード 小4 MH
- ・英語技能検定 4級中1 AN
- ・2019年度 マラソン大会
- 小学校1・2年生 1.2キロの部
- 第1位 SH 第2位 TG 第3位 SZ
- 小学校3・4年生 1.7キロの部
- 第1位 HU 第2位 AK 第3位 TM
- 小学校5・6年生 2.2キロの部
- 第1位 OS 第2位 FH 第3位 KS
- 中学校男子 3.4キロの部
- 第1位 UM 第2位 MK 第3位 KY
- 中学校女子 3.4キロの部
- 第1位 YA 第2位 NS
- 第3位 KM

【編集後記】

新型コロナウイルス対策で、休校・自宅学習という形になってしまった三月ですが、今また、「何が一番大切なのか」ということを問われ、その大切なものを守るために私達に何ができるかを考える時になりました。(文)

代表者 学園長 小川 正夫
 発行者 聖ステパノ学園小学校・中学校

〒255-0003 神奈川県中郡大磯町大磯868
 TEL 0463-61-1298

FAX 0463-61-9739

<http://www.stephen-oiso.ed.jp>

二〇二〇年 三月十三日(金) 発行 第241号